

会 議 録

(8-1)

会議の名称		令和7年度 第3回 庄和地区地域づくり推進協議会	
開催日時		令和8年1月30日（金曜日）	開 会 午後2時00分 閉 会 午後4時24分
開催場所		庄和市民センター正風館 2階 視聴覚室	
議長(会長等)氏名		会長 細谷 悟	
出席者	委員氏名	(出席人数： 12 人)	
		細谷 悟、森田 伝、嶋村 清、木村 亜人、新井 勝、松原 睦、横山 稜、 後藤 香澄、磯村 幸一郎、小川 直美、早坂 総、坂本 宏子	
	説明者 事務局	(出席人数： 4 人)	
		市民生活部長 飯口 信彦、市民生活部参事 矢野 仁史 庄和市民センター 川辺 孝、根本 護	
次第及び公開・一部公開・非公開の区分		1 開会 2 あいさつ 3 報告事項について (1) 令和7年度 庄和市民センターを拠点とした地域住民主体の地域づくり ～協議結果 中間報告書(案)について (2) 市長への中間報告 報告者について 4 その他 5 閉会 ※(すべて公開)	
一部公開・非公開の場合はその理由		☐ 要綱第3条第1号該当： ☐ 要綱第3条第2号該当： ☐ 要綱第3条第3号該当： ☐ 要綱第3条第4号該当：	
配布資料		資料1 令和7年度 庄和市民センターを拠点とした地域住民主体の地域づくり ～協議結果 中間報告書(案) 資料2 市民センターの概要について	
会議録の作成方法		☐ 録音テープ等を使用した全文記録 ☒ 録音テープ等を使用した要点記録 ☐ 要点記録	
会議録署名の指定		会議録の署名は、会長から指名を受けたものが実施する。	

発 言 者	発言内容 ・ 決定事項
事務局	【1. 開 会】 事務局報告 ・ 会議の公開及び傍聴人定員について ・ 会議出席人数(13人中12人)による会議の成立について
会 長	【2. あいさつ】 《細谷会長あいさつ》
事務局	【3. 協議・報告事項】 春日部市地域づくり推進協議会条例に基づき、会長に議長、議事進行を依頼
会 長	議長及び議事の進行を了承。議事録署名人として新井委員を指名 資料1(1) 庄和地区地域づくりに関しての意見交換、中間報告(案)、表面の(1) 庄和地域が求める「庄和市民センター」のあるべき姿について、事務局へ説明依頼
事務局	中間報告書(案)に関する説明 ・ 庄和地域が求める庄和市民センターのあるべき姿の現状 ・ 最終目標 ・ 今後の方向性と検討課題 について説明
会 長	各委員に『市民センターの4つの機能』について認識しているかを確認 最終目標の中の4本の柱 ・ 1番目として、住みやすいまちづくりの推進について ・ 2番目として、防犯、防災関連について ・ 3番目として、子育ての関係について ・ 4番目として、手続き、証明等、行政サービスについて であることを説明
事務局	公民館に付随された市民センター機能について説明 ・ 地域まちづくりの拠点としての機能 ・ 防災、防犯の機能 ・ こどもの居場所作りの機能 ・ 各種証明書発行の機能
各委員	各委員からの意見 ・ 防災、防犯の拠点についての私見について ・ 各自治会における自主防災組織の概要と現状について、防災士についての見解
会 長	各自治会単位、複数自治会単位における防災訓練の現状についての説明
各委員	・ 各種行事の開催案内だけでなく開催結果報告もすべきである。 ・ 各市証明書はコンビニでも発行できるので、差異を伝える必要がある。
事務局	開催結果報告について『公民館だより』の紙面について検討させていただく旨回答
会 長	行った事業には費用対効果等それなりの評価が必要であると思われるとの私見

発 言 者	発言内容 ・ 決定事項
各委員	有志の広報チームを作ってPRすることについて提案
会 長	前回の議論で既存のものを充実させようといったことの振り返りである。
各委員	各委員からの意見 ・ 総合型のものを作って、それを各部署が発展的にやればいい。 ・ コンビニ等の証明書の取得はよく利用する。待たないし安い。 ・ 机上だけで、ペーパーだけでやる会議は良いかどうか。実践的なものが出せるのか。
事務局	過去3回の会議の振り返り。庄和地区をよりより良くしていくというのは難しいという話もあり、事務局として考えてみた。8年度もあるので皆様と共に考えていきたい。直近として、3月中に防犯と防災の実践的事業を正風館にて実施する。防災、防犯だけでなく他の機能についても、進めていければと思っている。
会 長	改めて、市民センターのあるべき姿ということで、昨年から進めていく中で、これを骨子としながら、我々に求められている内容について入っていくことになる。
委 員	現状と課題ってところが、広報不足、PR不足っていうかたちになっていて、その原因、背景はわからないとのことであるが、この市民センターを使っていただきたい方々はどの年代なのかということまで、しっかりと整理する必要があると思っている。私は、地域のことは、子どもの学校からの配布物などで知るケースが多いので、子どもに協力していただく方法は、SNSを活用するより質の高い情報の伝達が可能なのかなと考えている。
委 員	4つの機能、特段4番目は、各種証明書が発行できる端末が置いてあるだけである。特に市民センターで何かするってということではないものが、4つの大きな機能の中に入っているというのは、どんなものかと前から疑問に思っていたところである。また、SNSで周知していこうっていうお話があったかと思うが、言うは易し行うは難しで、誰が責任を持って、それを投稿するんですか、管理するんですかといった時に、とても難しくなると思う。そこで市民生活部としてどのような考え方をしているかと思っているが、SNS等は、正風館で管理する、していこうとする、ということなのか。
事務局	管理については、そこまで協議が出来ていない。これまでの皆さんのご意見の中で、SNSを利用して、いろんな情報を発信、共有していこうという意見はあった。管理については、どこが管理とかといったところまで至っていない。SNSというものを利用し、情報を発信、拡散して、色んな方に情報が共有できれば、様々なところに参加できる、こんなイベントもあるということを周知する1つの手法として、SNSを使おうというイメージでまとめているところである。
委 員	例えば協議会で「LINEやりましょう」、「Xやりましょう」と決定し、報告して、市長もいいじゃないって言ったときは、正風館でやってくれると思っていいのか。それとも、先ほど、他の委員が言ったように、ボランティアとか有志の人を集めて、運営を任せていこうという方法で考えているのか。
事務局	踏み込んだところまで、ご意見を伺ってはいない。実際にSNSを使うと決定した際は、この場で協議、お願いしなくてはいけないと考えている。そのようなものがあり、その

発 言 者	発言内容 ・ 決定事項
	ようなものを利用して、庄和地区の良いところを拡散していこう、共有していこうという意見でまとまるところである。
委 員	それが決まっていないと、話をしても、じゃあそういう風にやりましょう、でもやってくれない、では我々が役員とかってなってしまうのはいかなものかと思う。
委 員	既にすばらしい市の公式LINEが構築されているが、どなたか専従の方がいて管理しているわけですね。広報程度のものなら、そこに乗っかることも可能なのかなと。
事務局	春日部市として、LINE情報提供の拡充を考えているところである。拡充についての余地、8つの市民センターが公式LINEの中で独自のページを持つことができるのか否かは未定である。現状、各セクションから情報出し載せてもらう形をとっている。拡充があるか、正風館独自の方式をとるか、困難な場合、皆様の力をお借りすることになるかと思っている。それから、キオスク端末設置の狙いについては、春日部市民で、マイナンバーカード取得者は約8割に至っているが、証明書の発行割合は4割程度である。更にご利用いただくために、どうしたらいいだろうと考えた中で行きますと、コンビニに置いてある機械について、年齢層が高い方は、コンビニで証明書を取ることとにすごく抵抗がある、使い方がわからない時に店員に聞けないといった声が多かったことから、市民センターに設置し、市民センター職員がお教えするということにした。
会 長	SNSについて表記させていただいた背景として、世代交代に向け、文化を変えなければというところ、アナログからデジタルに持って行かなければというところについて考えております。
委 員	デジタル化、携帯で何でもできるとか、コンビニで発行できるとか、という便利さが逆に、市民センターに人が来ない要因になっているのではないか。
会 長	情報発信としてのツールとして申し上げており、行動とはまた別の話だと思われる。
委 員	センター機能が4項目あるが、防災防犯の拠点として体制強化をして、訓練をやろうって話があるが、2年を経過してもあまり実施されていない。こどもの居場所づくりは、とてもいいことだと思うが、ここの場所だと、近くの子どもしか来られないと思う。市民センターの情報をSNSで発信するための内容を検討するって、ここだけ具体的である。訓練を検討するとか、ツールを検討するとか、本来的に言えば、発信するための方法を検討する、方法論は何をするのか考えるっていう立場なので、ここだけが引っかかった部分です。
会 長	これが柱として、皆様方といっしょに議論しながらまとめていく内容である。中央裏側の2番、庄和地域地域住民から自ら進んで行動できる取り組みについて事務局より説明願います。
事務局	《資料に基づき説明と報告》現状と課題として、 ・ 高齢者は、地域や社会、学校等とのつながり、結びつきの大切さを認識している。 ・ 地域内や自治会内でのコミュニケーション不足を感じる。 ・ 文化の違いから北部中部南部の3地域に分かれている。 ・ 防災訓練の強化充実が必要である といった意見に集約

発 言 者	発言内容 ・ 決定事項
	最終目標として、 ・ イベントを通じて、住民同士の結束、コミュニティ形成が強い地域になる。 ・ 世代間交流が活発な地域になる。 ・ 全世代が安心安全に暮らせる地域になる。 ・ 地域一体となった防災体制が取れる地域になる。 といった意見に集約 今後の方向性と検討課題として、 ・ 高齢者と若者の世代間交流により、若者の興味、関心を捉えたイベントの検討 ・ 子供と高齢者が交流し、昔遊びなどを通じて伝統文化を継承するイベントの検討 ・ 若い世代の交流の場を検討 ・ 住民のつながり、結びつきを深め、誰もが住みたい、住んでよかったと実感できる住環境を検討 ・ 防災訓練を実践的な備えと、評価充実するための具体的な訓練内容を検討 といった意見に集約
会 長	ただいまの説明について、令和7年度の中間報告としての方向性として『これでやる』という方向ではなく、8年度に向けて、どうすべきかということをおある程度考えながら、まとめた伺っているの、その辺を配慮に入れた中で、ご意見いただきたい。
委 員	学校も地域に開かれたものである。交流については、小学校で放課後こども教室等実施し、かなり盛んにやってる地域もあるので、参考にしていくべき。 有事の際は、中高生が体力もあるし、実務を担うのは中高生であると思う。災害が発生した地域で、事例として聞いているので、参加しなくてはいけないし、参加させていただきたいと思っている。前回の時も言ったが、広報活動は協力したい。
委 員	庄和地区は、水と縁があると思う。龍Q館があったり、農業振興地域に指定されていたり、水にまつわる街おこしのものを、庄和地区でと思っている。今後、水に関心が集まると思うので、インターネットのサイト等を立ち上げてはと思う。
会 長	私自身は庄和地区全体での水に対することは正直、意識してなかった。
委 員	庄和地区で高齢者と若者との世代交流について、イベントの視点で考えている。実際に参加して、こうだったらいいなと思うことがあった。子ども達は、お祭りって言葉に喜んで来ると思うが、実際は大人が作ったものを見ることが多い。子どもが思うような祭り、遊びが足りない。対象を広げ、地域の人たちが来てくれて、顔を合わせ、直接会話をし、そこで何か交流が生まれ、広がっていくと考えたので、全年齢を対象として、集まってやるようなものができたらいいと思う。
会 長	委員の各意見を踏まえ、中間報告の方向性、令和8年度の実現化に関する見解 庄和地区として特色あるものにこだわりたい。我々がやるのではなくて、団体の声を活用してやっていく。全員集まってやるのが無理なので、手を挙げて下さる方の中で調整しながら、運営していく必要がある。
委 員	実現可能であれば、やったほうがいいと思うが、中間報告書（案）での話だと、具体的な内容の話になるとできるかわからないということについては、疑問が残る。
委 員	まとめたものを中間報告として、これでいいという話であれば、内容的には具体的では

発 言 者	発言内容 ・ 決定事項
	ないが、方向性が違っていなければ、次のステップ、具体化するベースとして、いいと思う。また、協議が飛躍しているので、協議会の立ち位置を確認する必要がある。
会 長	次回が市長が来られて、答申を説明することになる。従って、今回でだいたいの方向性を決定していくことになるので、事務局どおりだけでなく、思ったことを積極的に。
委 員	方向性と検討課題の中で見ると、『若者』という言葉が多すぎる。1 番にある、文化の違いから『北』、『中』、『南』っていうことが全く理解できない。庄和のまちづくりとは、地域づくりとはと一緒くたんに考えて、正風館を中心にしてはいけない。南は南公民館、北はハルカイトを活用しなければならないと思う。
委 員	この北部、中部、南部は異なるという表現は何なのかお教えいただきたい。
会 長	北部については農村部で、大風が文化的に根付いている。中部は住宅街であるというところの主張なのかと思われる。
委 員	北部、中部、南部と分けるのではなく、正風館を中心とする活動が問題ではないか。
会 長	庄和地区はすごく広い。で、南公民館とハルカイトもある。事務局にお聞きしたいが、南公民館もハルカイトも同じ(活性化の中心として)話を進めていいのか否か。
事務局	諮問書をお示ししたなかで、この市民センターを拠点とした地域づくりについてという題目を出させていただいた経緯がある。全体の展望としてはよいと思う。
会 長	本部は正風館であるが、何でも全てここでやるという話ではないと思う。
事務局	正風館を市民センター化したことに伴いお示しした題目の中間報告を行い、来年度には、答申としてまとめていただくのは、市民センターを拠点とした地域づくりである。
会 長	北部、中部、南部という表現を変えるのかどうかについて。
委 員	基本的に正風館を拠点にして物事を考えるのがこのチームのメインであって、北部とか南部とかの話まで入ってくると話があちこち行ってしまうような気がする。
委 員	そのような実情もあるということを答申に持っていけばよい。
会 長	この北部、中部、南部というのは、あくまで現状と課題っていうことで出している。これはそのまま除いて、これを受けてどうするって話なので、私は違和感ないと思う。地域とのつながりという観点で事務局で考えてほしい。
事務局	前回、既存のイベントにプラスアルファしていこうという話は伺ったところである。各委員から良いアイデアをいただいているが、一度立ち返ってみなさんの意見を集約し、市長に庄和地区としてこんなことを話して協議したという報告の機会がある。報告を行い、実際にできるものについては、8 年度に座学的なもの実務的なもの踏まえて、もう少し時間をかけて考えていこうっていうところがあったところで、直近として、市長への中間報告の内容はこれでよいかということについて、今日の題目にさ

発 言 者	発言内容 ・ 決定事項
会 長	せていただいているので、この資料に関することをお願いできればと思っている。 庄和地区センターとして、柱の中にある防犯・防災ってということもありますので、改めて、防災関係の訓練ならび強化を出しました。すでに、自治連合会としての骨子的なものではできあがっており、趣向として令和8年度からやる予定でいます。 自治連合会だけでなく、避難というかたちになれば、庄和地区全住民が対象となり、その中で防災士が約50名くらいいらっしゃるの、声をかけ、支え合いながら防災士活動、防犯活動、防災活動をやっていく方向性で取り組んでいるところであり、それを巻き込んで推進委員会の答申としていきたいということで、ここに出させていただいたという経緯であるので、了承いただきたい。了承いただけるなら挙手願います。 (挙手多数) ありがとうございます。すでに骨子ができているので、執行段階までは進める。 ただデータがないので、そのデータがある程度構築させて取り組んで行くことになる。 これまでの審議を踏まえて全体的にご意見等を。特になければ、これで終わりにしたいと思います。ここで、中間報告の内容の修正点が出てきましたので、委員の皆さんからの意見を踏まえて、報告書(案)ということでの修正加筆を行いまして、庄和地区地域づくり推進協議会の意見として、決定・承認させていただき、次回第4回協議会において、改めてお示しさせていただきたいと考えています。
事務局	中間報告書(案)の修正箇所について、皆様に了承、確認をさせていただきたい。 1番について、SNSの発信等、話をうかがい、今後の課題もたくさんあるが、公民館だよりの内容の充実工夫を図るという意見について、今後の方向性と検討課題の中に入れてもよいか。 (委員から「入れていただきたい」の声あり)
事務局	それでは入れさせていただきます。次に、SNSの関係で今後の方向性と検討課題とあるところの2番目、市民センターの情報をSNSで発信するための内容の、『内容』という言葉で『方法』という言葉で修正させていただいてよろしいか。 その他、この文言を直したいという箇所があれば、皆様の了承の上で訂正します。
委 員	《今後の方向性と検討課題》のいちばん上に書かれている『最適なツール』が具体的に何を指しているのかがわからないのでお教えいただきたい。
事務局	L I N EとかXなどのソーシャルネットワークです。
委 員	それならばここはもう削除してしまって、(2行目を)『PRのため、市民センターの情報をSNSで発信するための方法を検討する。』とした方がよいかと思う。
事務局	では、1行目の『誰でも活用できる～検討する。』という文言を削除し、『PRのため、市民センターの情報を～の方法を検討する。』と修正させていただきます。
委 員	先ほど出た『若者』という表記も直した方がいいと思われる。若者は、自分たちのことを若者だと思っていないし、若者がどの世代からどの世代までかが不明確である。
事務局	今後の方向性と検討課題で、高齢者と若者の世代間交流とありますが、世代間交流ををより深めるためのイベントを検討するとか、単純なところでもいいのかと。 『若者』という言葉は、一任していただき、適宜修正させていただきます。

発 言 者	発言内容 ・ 決定事項
	大事なのはやっぱり世代間の交流であり、すべての人が交わり合うということが、最終的な目標になってくるのかなと思うので。
会 長	自治会だけでいろんなイベントをやるにあたって、参加者は高齢者がほとんどである。我々がもう高齢で、活動もなかなかできないので息子世代である50代に任せたいっていう気持ちがあって、それをある意味で世代交代という表現にしている。この方向性の中で1番の世代間交流を深めるという文面の中に、3番目の世代間の交流の場を検討すると重複するような気がするので要らないかなと思います。 (委員より要らないとの声あり)
事務局	『若い世代の交流の場を検討する』は削除いたします。
委 員	北部、中部、南部の地域性の表記は残してもらいたい。中心の主体は正風館でいいが、その枝分かれの中で、北と南について推進していただきたい。あくまでも、北部にはハルカイト、南部には庄和南公民館があるっていう存在を示していきたい。
委 員	各委員間で、北部と中部、南部の境界について、北部と南部だけで分けること、地域性が異なる、異なっていない等の議論あり。
委 員	正風館を中心とした地域づくりを行い、ゆくゆくは北部と南部にも波及するようにとの想いがある。
会 長	市民センターになったこと、諮問書はトップダウンで下りてきたことであり、我々がこういう場で議論していこうということから、遠い将来へ向けての仕掛けとして始めたことであると認識している。時間的なものもあるのでこの辺でいかがか。
事務局	様々なご意見を伺い、これを中間報告としてお伝えしたいと思っている。3月、市長に報告いただく代表の方について、どなたが適任であるか皆様にお諮りしたい。本日の訂正を踏まえ、3月6日金曜日午前10時30分からこの場所にて、市長に報告していただきます。
委 員	(委員挙手し)細谷会長にやっていただくのが適任であると思う。
事務局	委員から細谷会長に市長への中間報告として、発表していただくのがよいというお話しがございましたが、皆様いかがでしょうか。 (各委員より、『お願いします』の声)
事務局	『異議なし』ということになりましたので、会長よろしいでしょうか。
会 長	庄和地区として皆様の意向を伝えたいと思いますが、私でよろしければお受けします。 (委員一同拍手)
事務局	本日の協議を踏まえ、再度訂正をかけまして、会長、副会長にご確認いただいた上で、市長への中間報告という形で令和7年度締めていきたいと思っている。
会 長	本日の議事はすべて終了となる。これをもって、本日の議長長の職を解かせていただき、進行を事務局にお返しする。※議事終了、傍聴人退席
事務局	【10. 閉会】
議事の顚末・概要を記載し、その相違なきことを証するためここに署名する。 令和8年3月26日 署名者の職 ・ 氏名 庄和地区地域づくり推進協議会 委 員 新井 勝 (原書は自署)	